

令和 7 年 4 月 18 日

課 名 地域政策局

平和推進プロジェクト・チーム

担当者 担当課長 山本

内 線 2365

被爆 80 年人材育成特別プログラムの実施について

(被爆・終戦 80 年「若者達が集い、未来に平和をつなぐプロジェクト」)

1 要旨・目的

広島大学等との連携による専門講座等を通じて、被爆者の平和への想いを受け継いだ若者が、核兵器を巡る国際情勢と歴史に関する知識を深め、平和な未来を築く取組を広く国際社会に発信する機会を創出することにより、核兵器を取り巻く厳しい国際情勢の打破及び、国際社会で活躍できる若者の専門キャリア形成支援を図る。

2 現状・背景

被爆・終戦 80 年「若者達が集い、未来に平和をつなぐプロジェクト」事業のひとつとして、実施するもの。

3 概要

(1) 実施主体

広島県、へいわ創造機構ひろしま (H O P e)

(2) 参加人数及び参加対象者

10 名程度を公募 (4 月 18 日から開始)

【対象者】

広島県内の高校・大学に通う又は広島県出身で県外の高校・大学に通う 20 歳以下の生徒・学生のうち、既に被爆者との交流や被爆体験講話聴講、その他の平和活動等、被爆の実相の学習について十分な経験を有し、それらを踏まえた上での今後の活動について独自の方法や考えに基づいて発信する力を有する者。

(3) 実施期間・場所及び実施内容

ア 専門知識の習得

(ア) 時期：8 月 25 日 (月)～8 月 29 日 (金)

(イ) 場所：広島市内

(ウ) 内容：核軍縮・不拡散、人道・規範、国際政治、A I 活用等

イ 国外研修

(ア) 時期：9 月 14 日 (日)～9 月 21 日 (日)

(イ) 場所：米国 (アイダホ州モスコー市、ワシントン D. C.)

(ウ) 内容：核兵器問題を巡る国際情勢や政策に関する研修

ウ 発信

(ア) 時期：11 月～12 月

(イ) 方法：プレゼンテーション、ウェブサイト、ソーシャルメディア

(ウ) 内容：核戦争が行われた際のワーストシナリオ、そのシナリオを回避するための政策提言等

(4) 連携機関

ア 広島大学

同大学平和センター 戸崎洋史准教授による監修及び運營業務の一部を委託

イ 米国アイダホ大学

米国の若者との核兵器問題・国際平和に関するグループワーク等交流事業を予定。

(同大学は広島大学学生や研究者が平和や環境など幅広いテーマで交流することを目的として学術交流協定を締結 (R 5. 3)。)

ウ 米国シンクタンク等

国外研修における研修先として軍備管理協会、ハドソン研究所、戦略国際問題研究所 (C S I S) を予定。

4 予算（単県）

25,000 千円

5 参考

被爆・終戦 80 年特設ウェブサイト（被爆 80 年人材育成特別プログラム）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/peace80/action-special-program.html>